

令和3年度群馬県流域下水道事業の決算について（速報）

流域下水道事業は令和2年度から公営企業会計を適用し、本年度が2回目の決算となります。

令和3年度の流域下水道事業の経常損益は176百万の黒字を計上しました。

純損益は公費負担の見直し等の影響により、前年度を上回る負担金等の収入が確保できたことから、178百万円の黒字となりました。

【令和3年度 決算概要】

（単位：百万円）

区分	事業実績		負担金等収入		経常損益		純損益	
	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2
流域下水道事業	処理水量 (千m ³)	処理水量 (千m ³)						
	74,171	75,184	10,015	9,892	176	129	178	123
(うち繰入金)			(1,720)	(1,690)				
増減	△ 1,013		123		47		55	

【決算の主な特徴】

●流域下水道事業

- ・ 公営企業会計適用後、2回目の決算
- ・ 経常利益は176百万円
- ・ 純利益は178百万円